



平成18年11月

第75号

ながい市議会だより



野外で紙芝居

長井市中央児童センター（学童クラブ）は、今年度入所希望者が多く、勤労センター（35名）、中央児童センター（35名）の2ヶ所に分かれて活動しています。

子どもたちは宿題を終わらすと、キックベースや竹馬・ドッジボール・野球・虫取り・草花摘みなど、体をいっぱい使って遊んでいます。

今日はこちよい日差しをあび、みんなでおやつを食べながら土手での紙芝居です。

学童クラブ

いきいき

おもな内容	ページ
*議会の動き	2～3
*一般質問	4～7
*決算特別委員会	8
*予算特別委員会	10
*常任委員会の焦点	11
*ながいの元気印	13
*傍聴席	14

9月定例会

平成18年9月定例会は、9月1日から22日までの22日間で開催されました。定例会では、平成17年度一般会計および特別会計・企業会計決算認定のほか、報告2件、一般議案3件、補正予算案6件、請願2件、追加議案では長井市教育委員会委員の任命のほか人事案件4件、議案案1件が提案され、全議案を可決しました。

一般質問には6議員が、決算総括質疑には3委員、予算総括質疑には4委員が質問に立ち、当局の考えをただしました。

平成17年度各会計決算を認定

平成17年度一般会計及び国民健康保険特別会計など10の特別会計と1企業会計の決算が提案され、決算特別委員会が審査されました。

一般会計の歳入は、前年度と比較すると、「三位一体の改革」により国庫補助負担金の削減分が、所得譲与税や普通交付税に加算されたことなどにより、地方譲与税が5556万円、地方交付税が9129万円増加しましたが、国庫支出金が3245万円、平成16年度からの繰越金が1億985万円、市の借金にあたる市債が3億8450万円減少したことなどから、3億1878万円（2.7%）少ない

113億2005万円となっています。

また、歳出は、前年度と比較して、生活保護や少子高齢化対策などのための扶助費が1億1667万円、置賜広域病院組合、西置賜行政組合などに対する負担金、地場産業振興センター、特別養護老人ホーム、土地改良区などに対する補助金の補助費等が1億3976万円、市道や河川整備などの普通建設事業費が2億9349万円とそれぞれ増加しましたが、特別職、一般職の人員費が9679万円、市の借金返済にあたる公債費が6億4004万円減少したことなどから、3億6724

万円（3.2%）少ない110億7312万円となっています。

この結果、歳入歳出差引額は2億4693万円となり、このうち翌年度に繰り越すべき財源3263万円を差し引いた実質収支は2億1430万円となっています。審査の過程では、昨年度に引き続き市税等の収入未済額・不納欠損額に関する質疑が行われたほか、歳出決算における不用額、自治公民館活性化補助金の考え方と今後の方向性などについて質疑が行われました。

平成17年度水道事業概要

当事業年度は、第四次拡張事業として、長井ダム水源開発整備事業の推進や平山浄水場中央監視制御装置の老朽化に伴い、水需要や故障時の迅速な対応ができるシステムの近代化への改造工事に着手しました。また、石綿セメント管更新事業では、総延長26.5kmのうち約15.0kmが完了し、進捗率は56.8%に達しました。

減少や極力経費の節減を図るなど、経営の効率的な運営に努めた結果、黒字決算で終了しました。

平成17年度末給水状況は、次のとおりです。

給水戸数	9791戸
給水人口	2万9668人
普及率	95.0%
給水量	347万7280 ^m

一方、経営面

では、給水収益は、人口の減少などにより前年度を下回りましたが、公営企業債の繰上償還により支払利息の



ハーベスタによる脱穀作業

実質公債費比率について

今議会では、開会直前にマスコミなどでも大きく取り上げられた「実質公債費比率」についても質疑が行われています。

下水道・病院・西置賜行政組合も対象に

この実質公債費比率とは、標準的な財政規模に占める公債費（借金返済額）の割合で、地方債を発行する（借金をする）場合に国や都道府県の許可を必要としていたこれまでの「許可制」から「協議制」へ移行することに伴い、今年度から導入されたものです。

対象に

これまでの地方債発行許可の一つの基準としていた「起債制限比率」より厳格で、下水道事業など公営企業に対する一般会計からの繰出金や置賜広域病院組合、西置賜行政組合など一部事務組合に対する負担金のうち、公債費に充当されたものも算出の対象とされます。実質公債費比率が

18%以上の地方公共団体は、地方債を発行する際に、「協議制」に移行後も従前の「許可制」に準じた手続きが必要となります。さらに、実質公債費比率が25%以上の地方公共団体は、一部の地方債の発行が制限されることとなります。本市の場合、遅れていた社会資本整備のため昭和50年代から集中的に建設事業を行ったため、平成17年度の実質公債費比率は27・7%で、県内では2番目、東北では3番目、全国では11番目という非常に高い比率になっています。

ピークは過ぎ、今後は改善傾向に

公債費のピークが平成15・16年度。ピーク時を乗り切るため、平成12年度から公債費負担適正化計画や平成13年度からの行財政改革大綱、財政計画などによって、財政健全化、公債費負担適正化に取り組んできました。また、土地開発公社の経営健全化にも取り組み、平成13年度から平成17年度までの第一次の計画期

間中に2億3800万円ほどの土地開発公社の保有地を再取得してきました。

今後、自主的に新たな公債費負担適正化計画を策定し、この実質公債費比率を18%以下にするための具体的な取り組みを行うことになるとのことです。

尚、18年度から下がり始め19年度には25%を切る見込みになっています。

三名の市政功労者表彰に同意



町田儀右衛門 さん



片桐 義正 さん



渋谷 正吉 さん



公共下水道終末処理場

人事

教育委員会委員

選任に同意

塚田道子 さん

(館町南4-20)

9月30日をもって任期満了になる塚田道子さんを引き続き任命するため提案されたもので、全員一致で同意しました。





南中学生徒会活動でのあいさつ運動

A・特定環境保全公共下水道事業は、目標年次を平成21年度として進めております。予定する工事は順調に進み、西館・大沖地区については、今年度完成し、平成19年4月から供用開始の予定です。

A・特定環境保全公共下水道事業は、目標年次を平成21年度として進めております。予定する工事は順調に進み、西館・大沖地区については、今年度完成し、平成19年4月から供用開始の予定です。

A・護国神社に祀られた経緯や、長官メモで天皇が昭和53年以降参拝されない理由等が類推できるように、中国はじめアジアの住民の心情を思い、自らの信念は持っていても国の利益を考慮すべきと思います。

植民地支配の被害者である台湾人・朝鮮人が同様に「護国の神」として祀られています。市長の歴史認識や、国内外に与える影響をどう考えていますか。

Q・第3期介護保険制度が始まり、保険料が基準額で1万円上がり、重税感があります。制度そのものが難しいことでもあります。全戸に「国保の手引き」のようなものを配布してはどうですか。

A・介護保険制度は平成12年度創設以来、3年毎に見直しが行われ、18年度は保険料が改正されました。この改正内容と制度を説明する広報紙を全戸配布してまいります。

Q・現在、118名の児童が6カ所の学童クラブに通っています。その学童クラブの在り方が、来年度から根本的に変わろうとしています。①「放課後子供プラン」として一体的に実施すること②教育委員会が主導となること③各市町村で事業運営組織を設けること④地域の小学校で実施すること⑤退職教員等を活用すること等が、主な改正点となります。このような根本的な改正を受け、これまで運営してきた福祉事務所の考え方はどうか、今後主導する教育委員会はどうかといった検討をしているか、その対応策について伺

Q・現在、118名の児童が6カ所の学童クラブに通っています。その学童クラブの在り方が、来年度から根本的に変わろうとしています。①「放課後子供プラン」として一体的に実施すること②教育委員会が主導となること③各市町村で事業運営組織を設けること④地域の小学校で実施すること⑤退職教員等を活用すること等が、主な改正点となります。このような根本的な改正を受け、これまで運営してきた福祉事務所の考え方はどうか、今後主導する教育委員会はどうかといった検討をしているか、その対応策について伺



高橋孝夫 議員

来年度からの「学童クラブ」の対応は

答弁
「放課後子どもプラン」の動向を見ながら進めます

Q・中央学童クラブは、児童数が73名になったことから、今

A・「放課後子どもプラン」の具体的な内容についての説明はまだありませんが、少子化対策、子育て支援ということでは大変結構な事業だと思いますので、課題もありますが、全市的に推進委員会をつくり、小学校区ごとに運営委員会を組織して対応していく方向で教育委員会としても検討したいと思います。

学童クラブについて、子どもプランの実施が確実であれば、福祉事務所としても教育委員会と協調してまいります。

A・「放課後子どもプラン」の具体的な内容についての説明はまだありませんが、少子化対策、子育て支援ということでは大変結構な事業だと思いますので、課題もありますが、全市的に推進委員会をつくり、小学校区ごとに運営委員会を組織して対応していく方向で教育委員会としても検討したいと思います。

学童クラブについて、子どもプランの実施が確実であれば、福祉事務所としても教育委員会と協調してまいります。

A・中央学童クラブは、特に「北」からの要望が多く、これまで2回の話し合いを保護者の方と持ちました。お答えできる要望には対処し、児童の安全面を最重点として運営に取り組んでまいります。



子育て支援センターは大人気



年1回のバイキング給食

Q: 子供達の食をめぐる環境が近年大きく変化し、朝食を食べない子供や、一人で食事をしている孤食、コンビニから好きなものを好きなだけ買って食べる、飽食の子供が目立っています。やせ過ぎで栄養不足や、食べ過ぎでの肥



谷口栄子 議員

子供達のからだと心の健康は食育で

答弁

規則正しい生活習慣が大切

満など、生活習慣病が増加し大きな社会問題となってきました。

子供達の健康を守る食育の大切さが見直され、昨年食育基本法が制定されました。本市の基本計画を伺います。

A: 県の推進計画に沿って地域実態に即した取り組みの必要があります。3度の食事をきちんと取る、栄養バランスや食事マナーなどについて、親子を対象に教えていくため、各職場の実践活動を検証したいと思います。

Q: 生きる上での基本となる「食」について、全国では栄養教諭の学校配置が進み、日

本の食文化や、それぞれの食物が体の中でどの様な働きをするのか等、学校での食育に力を入れています。本市の栄養教諭の学校配置の取り組みを伺います。

A: 現在、長井市には2名の管理栄養士が県から配属され共同調理場に勤務しています。長井市の児童生徒数では栄養職員の定数は2名になっており増員はありません。各学校に栄養教諭を配置するとなれば、市職員として配置しなければならず、事業の優先順位を考えた場合難しいと考えます。

Q: 広報ながい6月30日号で、「毎月19日は食育の日、あなたの食事は大丈夫？」が掲載されました。子供達の食生活と心のバランスについて、どのような取り組みをしているのか伺います。

A: 親には、早寝早起きで規則正しい生活習慣の大切さとバランスのとれた食事を作る意識づけを、子供には、何をどれだけ食べたらいいか、選択できるように取り組んでいます。



9月16日に行われたふれあい福祉まつり



藤原民夫 議員

障害者の立場に立った支援の手を

答弁

先進市の事例を参考に検討

Q: 国の「障害者自立支援法」が4月から実施されたのに伴い、障害者の利用料が、これまでの「能力に応じて負担する」方式から、「利用したサービス量に応じて負担する」方式へと変わったことにより、

障害の重い人ほど負担が重くなり、施設でもたいへんな経営状態となっております。長井市の知的障害者授産施設「せせらぎの家」を訪問して、その影響について調査しました。利用料は、これまで

障害の重い人ほど負担が重くなり、施設でもたいへんな経営状態となっております。長井市の知的障害者授産施設「せせらぎの家」を訪問して、その影響について調査しました。利用料は、これまで



せせらぎの家 作業風景

9割を超える人が無料でしたが、給食代を含めて1〜3万円の負担になっております。この重い負担のため退所した人が二人おられました。

また、施設経営はどうか。今年4月分の施設収入と、3月分（支援費）に比べて、減収が1割で月額20万円が見込まれるということです。

小規模作業所の運営についても不安が広がっています。山形市では、利用者の負担増に対して、市独自の軽減策

を9月議会に提案し、10月実施の計画ということですが、長井市はどうですか。

A 国は、これまでの支援費制度では利用者が増えて、その急激な財政負担の拡大が、社会保障全体を圧迫する要因となり、加えて、これまで対象外であった精神障害者を含め、今後も利用者増が見込まれることから、安定的な制度維持のために、費用を国民全体で負担し支え合うという「障害者自立支援法」を4月から導

入しました。

これにより、せせらぎの家では、利用者負担増と施設収入減の影響が出ております。

利用者負担の軽減策については、山形市の例などを参考に十分検討し、来年度に向けて方針を決定してまいります。



我妻 昇 議員

観光による

経済効果を把握すべき

答弁

まず可能なところから実施

Q 花観光、黒獅子まつり、水まつり花火大会など、一連の観光事業を振り返っての総括と、さくら回廊やフットパスで盛んになりつつある「まちなか観光」の状況について伺います。

A また、今後は経済効果の観点からも各種観光事業を把握すべきと思いますが。

A 今年度は、桜回廊の観光客数が15万人を超え、あやめ公園への市民来園数が3400人増え、まちなか観光では、ボランティアガイドによる案内も2倍に増えております。観光協会ははじめ、ボランティア

皆様の絶大なご支援に感謝申し上げます。

観光事業は、観光交流を通して、市民の暮らしの向上や事業の改善に資することが目標です。この効果測定の資料として可能なところから整えていきたいと考えます。

Q 現在、取り組んでいる特環公共下水道事業と、合併浄化槽事業を仮に比較した場合の建設費・維持費の違いと、このまま下水道事業を進めることに問題ないのか伺います。

A 生活排水処理対策として事業を実施する場合は、公共下水道事業のような集合処理と、浄化槽事業のような個別

処理との経済性の比較を行い、地域の状況に適した処理方式により、処理区域を定められております。特定環境保全公共下水道（特環）事業区域も、同様に費用対効果を考慮して、特環区域と浄化槽区域を定めております。仮に同じエリアで特環事業と浄化槽事業を実施した場合は、当初の建設費の比較で浄化槽事業が有利になり、耐用年数を基に年間維持管理費で比較すると、特環事業が有利になります。



大賑わいだった水まつり

決算特別委員会

総括質疑

依然高水準の滞納額

蒲生光男委員 平成17年度滞納額は総額で5億円をはるかに超える額です。不納欠損額も過去最高の6100万円になります。

収納率向上対策本部が設置されて、取り組みを強化されていると思いますが、効果が見えません。長井市の新たな課題であり、極めて重要な問題です。歳入不足が見込まれるなか待ったなしの取り組みが求められます。

市営住宅使用料の滞納も1千万円弱ですが、入居時に市税等の滞納がないことになっています。保証人の資格はどうですか。

浅野敏明建設課長 入居時滞納はございませんでした。保証人は長井市在住、保証人と

しての資力があることで、2名お願いしています。

委員 滞納を見ると100ヶ月を超える状況です。既に退去した人は居場所の確認はとれますか。

課長 市外の滞納者は出向いて誓約書を取っていますが、東京の1人だけ確認が取れません。別の観点から、不動産を当たって所在を確認する、資産の確認、納税の確認など検討し、適正な徴収をさらに進めたいと思います。

監査委員の「不用額」の真意は

佐々木謙二委員 監査委員は5億8千万円の不用額は出さない行政執行をすべきと言われていますが、計算するといくらになりますか。また、不用額は使えるお金ですか。

沼澤厚子監査委員事務局長 計算すると4億7千万円弱となります。実際に残るお金は実質収支額となります。

委員 実質収支の黒字額は3億8千万円で、決算の剰余金は適正な範囲内であり、意見書の不用額に関する記述は誤解を受けやすいと思います。使い切れれば、財政運営に支障が出るのではないですか。

飯田武志監査委員 不用額が出ないよう事業内容を精査して下さい、という意味です。技術的なことではなく、意識を変えて欲しいということですね。

委員 災害時等の危機管理や除雪のため、剰余金の確保は必要だと思います。

松本弘財政課長 財政運営上、決算の剰余金は、最低必要な金額です。

委員 財政運営で重要なのは実質収支の黒字額であり、不用額の指摘は不適切ではないですか。

財政課長 不用額のとらえ方に違いがあると考えます。

自治公民館補助の在り方は

高橋孝夫委員 「広報ながい」に、「自治公民館活性化事業補助金を活用ください」という記事が掲載されていますが、再募集ということですか。

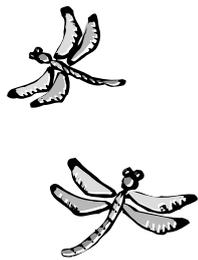
寺島吉昭中央公民館長 自治公民館活性化事業補助金の今年度の申請は、16団体で93万円程で、予算に余裕があり2次募集したものです。

委員 平成15年度から始まったこの補助金の自治

や地区全体の自助努力等が影響していますし、申請方法や新規事業ということもネックになっていると思います。

委員 各館では、事業を維持継続するために頑張っています。そういう頑張りや、実際どういった支援が求められているかを調査し改善する必要がありますのではないですか。

教育長 事業費補助の考え方は変わりませんが、現実的な調査はしたいと思います。



大滝昌利教育長 自治公民館の世帯数や規模、事業への熱意



ままの上公民館

平成17年度 歳入歳出決算を認定

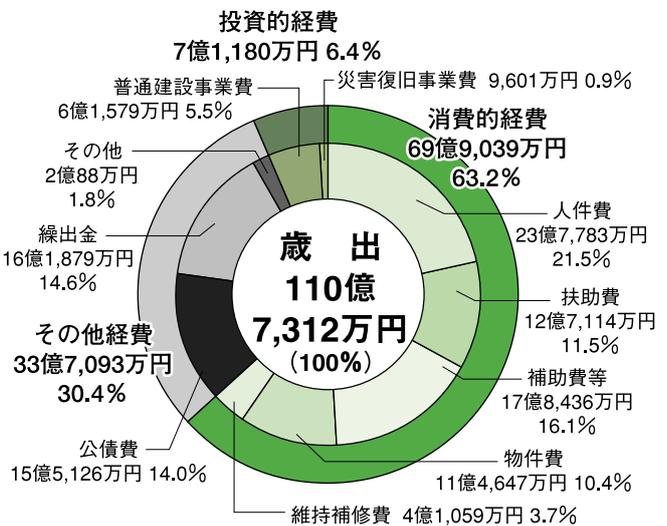
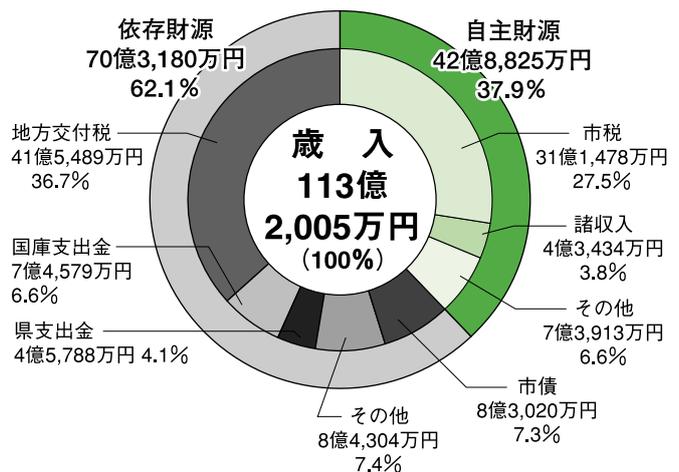
一般会計及び10の特別会計・1企業会計決算審議は、議長と議会選出の監査委員を除く全員で行われ、全ての会計決算が認定されました。その概要は以下の通りです。

平成17年度 特別会計・企業会計決算

(単位：万円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
国民健康保険	252,068	237,263	14,805
物品調達	4,711	4,642	69
公共下水道事業	161,237	160,816	421
老人保健医療費給付事業	289,012	293,401	△ 4,389
山形鉄道運営助成事業	10,662	10,662	0
農業集落排水事業	15,869	15,799	70
訪問看護事業	2,964	2,954	10
介護保険	227,963	221,839	6,124
浄化槽事業	7,713	7,700	13
用地	30,087	30,087	0
水道事業	125,564	121,747	3,817
合計	1,127,850	1,106,910	20,940

平成17年度 一般会計決算内容



討論

●平成17年度一般会計歳入歳出決算認定について反対

(藤原民夫議員)

17年度の成果報告書では市税条例の改正について①市民税の定率減税の縮減、②高齢者非課税措置の廃止、「あるべき税制の構築」に向け税法改正に合わせて実施したとあります。

市民税の定率減税半減は納税者全体の負担増となり、国保税や介護保険料に連動し市民の暮らしを直撃しています。

長井市の「あるべき税制の構築」という方針を見直し、税金は能力に応じて支払い税金は福祉に使うという立場にたった方策を求め反対します。

常任委員会の 焦点

主な審査結果など

総務 文教

「市営バス設置及び管理に関する条例」は市民の利便性を向上させるため、起点の変更や停留所の新設、長井病院前で乗り継ぎ出来るようにダイヤ改正をするものです。各委員から、長井線との相乗効果や意見調整の必要性、市民への周知方法について質疑がなされ、全員一致で可決しました。

「長井駅構内線路西側区域に存在する杉林一帯の環境整

備及び構内横断踏切並びに西乗車口の設置に関する請願」

この請願は、長井駅開設当時から防雪林として植えられた杉林一帯に雑草・雑木が生い茂り、藪蚊やアメシロが発生している現状から、「長井駅構内改造計画試案」による早期環境整備を求めるものです。

質疑では、この試案を駅西住民だけでなく市民全体のこととして十分検討し、まず生活環境整備に着手すべきとの意見がだされ、全員一致で採択しました。

産業 建設

「市道路線の認定について」

は、一般県道久保桜線長井橋（さくら大橋）架け替え工事に伴う側道を、市道として認定するものです。堤防上の市道を分断するのはとの質疑に対し、起点と終点を変更処理するとの説明がありました。

念願であった大橋建設にか

かわる市道認定であるので賛成との意見が出され、全員一致で可決しました。

「市道路線の変更について」

舟場の工業地域内道路で地元企業が道路向いを取得したことにより、工場内通路として市道の取得要請がありました。当局からの、企業振興を考慮し市道の起点を変更するための提案であるとの説明に対し、委員から舟場地区はじめ関係者に十分納得が得られるようにとの要望が出され、全員一致で可決しました。

「地域と中小企業の金融環

境の改善と金融の円滑化を求める意見書採択についての請願」は、一部大企業で景気回復基調にあるものの、地域経済や中小企業には不況感が強く貸出金融環境は依然厳しいため、中小企業への円滑な資金提供が必要との内容です。

委員から企業間格差が生じている現在、融資に対し信用保証協会や金融機関は大幅な緩和策を講ずるべきとの賛成意見があり、全員一致で採択しました。



より便利になった市営バス

請願

採択

●地域と中小企業の金融環境の改善と金融の円滑化を求める意見書採択についての請願書

(請願者 山形県中小企業家同友会 筆頭代表理事 安部秀俊)

採択

●長井駅構内線路西側区域に存在する杉林一帯の環境整備及び構内横断踏切並びに西乗車口の設置に関する請願

(請願者代表 長井駅西開発推進協議会会長 鈴木弘一)

意見書

『地域と中小企業の金融環境の改善と金融の円滑化を求める意見書』

我が国経済は一部大企業においては回復基調にあるものの、地域経済や中小企業は不況感が強く原油高騰による不安定要素は増し、大量不良債権が発生し金融システムの不安を引きおこしました。

金融庁より機能強化に関するアクションプログラムが出されましたが、地域経済の活性化と中小企業金融の円滑化に向けた更なる対策を求めるものです。
一、貸し手と借り手の公正な取引関係を維持しつつ地域と中小企業に対し、より円滑な資金提供や利用者利便を図ること。
二、物的担保優先や連帯保証による割合を減らし、中小企業の潜在能力や事業性を重視する融資を拡大すること。



予算特別委員会

総括質疑

地域への説明を

蒲生吉夫委員 品目横断的経営安定対策について、表裏一体と言われる米の安定対策について、車の両輪といわれる農地・水・環境保全向上対策が19年度から始まりますが農業の大改革という認識を持っています。地域への説明をどのようにしますか。

梅津和士農林課長 戦後の農地改革以来の大改革と認識を持っています。昨年12月から市内の、農業関係団体とプロジェクトを組織し、農業者を中心の連続的に説明会を開催してきました。市内の9割くらいの農業者・農業者団体に周知できたと思っています。
委員 農地・水・環境保全については農業の集落を守ろうとする事業で期待しています。現行の支援は、どのようになっていますか。
課長 国では共同活動につい

ては10坪当たり2200円を支援することになっており、県や市に対してもそれぞれ1100円の支援を求めています。市町村では国に対して、地方財政支援策を強く要望しています。
委員 要綱を見ると5年間で膨大な事務量になりそうです。パソコンやデジタルカメラなど事務機器も買えるようですが事務員の雇い上げ費用もこの中から出せるとすれば雇用の拡大につながると考えますがどうですか。

課長 現在モデル地区で実験事業を行っていますが、事務量は多いようです。雇用の創出と言う観点からすれば質問のとおりですが、常時雇用につながるかは未確定の部分があります。
委員 長井市のシステム開発費や運用・管理費の総額はどれくらいか。その費用を少しでも軽減するには高度な知識を持つITコーディネーターの起用が必要と思うのですが。
松木幸嗣企画調整課長 17年度決算ベースで、開発、運用、保守につきましては基幹システム並びに情報システム合わせて、約1億2,600万円になります。ITコーディネーターについては、参考事例を十分生かして、見積もり等にも当たってご提案をしっかりと検討していきます。

浄化槽事業が有利では

我妻昇委員 特環の下水道事業と浄化槽事業を比較するとき、下水道の耐用年数が85年というのは無理がある。財政難の今をどう乗り切るかが重

要なのだと思います。建設費が3分の1で済む浄化槽事業を進めるべきではないか。特環事業の見直しや、計画変更はできないのですか。
目黒栄樹市長 汚水処理としては、今度とも市街地を除いて浄化槽の普及を図るのが最も得策だと思っておりますが、この地域は農業排事業を計画していたものを既設の処理施設に接続する有利な特環事業の認可を得て取り入れたものです。

道照寺平を公園に

町田義昭委員 三月議会の質疑で道照寺平の公園化について答弁をいただいておりますが具体的に伺います。

現在は企画調整課ダム推進係、文化生涯学習課が個別に担当しているが統一する必要はないのか、また具体的構想については。

佐藤孝博生涯スポーツ主幹 文化生涯学習課の生涯スポーツ係が窓口になって進めてまいります。また、スキー場のみならず19年度に向け花公園、トレッキングコース等の整備を行ないます。

委員 コミュニティセンターの通年型利用について市民への一般開放の考えは。
生涯スポーツ主幹 土、日、祭日に限りフリーの来訪者が利用できるようにします。

管理体制はスキー場同様業務委託と考えています。
委員 公園となれば毎年、予算措置が必要になると思うが19年度に向けての考えをお伺

います。

松本弘財政課長 経常的な予算措置が必要と考えます。しかし財政の見直しから総体としてのスクラップアンドビルドということを考えています。

県の西庁舎統廃合計画にどう対応するのか

高橋孝夫委員 8月に、置賜総合支庁西庁舎の統廃合計画が報道されました。現在県の機関として機能している西庁舎が、当面3課1係

を統合し将来は「相談窓口」と道路等の維持管理部門のみに縮小したいとする考え方です。来るべきものが来た感じですが、どうとらえておられますか。

目黒栄樹市長 総合支庁方式になってからは、それまで2カ所でよかつたものが、3カ所に話をしなければならぬという負担増になっていま



今後の行方が注目される西庁舎

す。

それを改善するということだと思えます。この程度の機関であれば、庁舎を市に貸してくれと言いたいくらいです。財政難ということで改革するということですが、市の本音をちゃんと聞いて欲しいと思っています。

委員 190名の職場がなくなるわけで、その影響は大きいと感じます。人口減少、雇用の場の喪失、昼間人口の激減、物品等の調達等で市に落

ちていたお金が無くなること等による

経済に与える影響を調査した上で対応が求められると思います。

市長 県が決めることであり市の利益を考え、実現可能な対応をさせていただきます。

平成18年度 一般会計補正予算の主な内容

(単位:千円)

- 市営バス運行区間延伸にともなう費用…………… 326
- 市民交流事業費(バードゼッキンゲン市訪問団)…… 163
- システム開発委託料
(行政事務基幹系システム)…………… 35,500
- 交通安全指導員(2箇所増員)…………… 496
- 介護予防サービス計画作成事業費…………… 13,258
- 市道除排雪経費…………… 90,399
- せせらぎ水路整備事業…………… 5,800
- 消流雪用水配水路整備事業…………… 18,100
- 水辺環境整備事業(フットパスコース)…………… 3,200
- コミュニティ歩道整備事業
(あやめ公園駅、小桜館周辺)…………… 12,000
- 小桜館周辺整備事業…………… 19,600



活用が期待されるコミュニティセンター

ながいの 元気印

第 6 回
伊佐沢地区公民館

さくら大橋と地区公民館に

期待して

農林水産大臣賞のアメニティ特別賞や、「元気なむらづくり」コンクール入賞の経過をもつ伊佐沢地区は今、「さくら大橋」や地区公民館新築完成を目前にして、更なる地域発展に取り組んでいます。地域内の団体に、「つくりと邑」^{むら}手仕事を新たに交え、伊佐沢を「アトぴあ」と言われる村づくりに頑張っています。

美術作品・里親構想

今年1月、「いさざわの将来を語る会」で、手仕事家の代表から地域散策を楽しくしたいと「美術作品・里親構想」が提案されました。そこから、伊佐沢地区と東北芸術工科大学の交流が始まったようです。学部の、和太守卑良美術科長さんの高配よってこの構想が実現し、昆虫を題材に9点の美術作品が届けられました。庭や畑のほとりに飾られた作品は、今や静かな佇まいの田園の風物詩となり、将



来は「野外美術館」と銘打つ大事業へ発展させようと、期待は大きくふくらんでいます。

作品と交流

東北芸術工科大学の学生が将来の芸術家を目指し、実習の中で製作した作品の数々。本人はもちろん、ご家族やご親戚の方々までもが、どんなところに展示されているかと伊佐沢を訪れ、新たな交流の広がりを見せています。

里親である伊佐沢地区は、作品のお礼として、地元の農産物などをパンフレットと共に学生の実家に贈り、心の交流も図っています。

毎年、久保の桜には10万人もの観光客が訪れ、農産物直売所には6万人の方が買い物を買われています。伊佐沢は、沖繩

民間活力の結集

並里区との交流・修学教育旅行生の受入れなど人的交流の盛んな地域ですが、行政に頼らない民間活力の結集で成功させています。この度の「美術作品・里親の村」構想の実現も、地区住民のご尽力に他なりません。この大きな活力は、今後も地域発展に大きく貢献するものと期待するところです。



これからの伊佐沢

新しい夜明けに向けアンテナを高くし、自然体で楽しみながら、ボケないように頭を使い、交流という媒体を通して、地域の活性化を肌で、目で、耳で感じられるような活動を伊佐沢地区は目指しています。

伊佐沢の「アトぴあ」にあな
たもどうぞ！

(T・S)

傍聴席



伊佐沢 江口 忠博

議会：タテ・ヨコ・ナナメから

質問がレインボープランと関係あり…。との情報を得た私は、9月6日の朝、傍聴席に続くあの狭い階段をのぼって行ったのです。議会の傍聴はすでに何回目かになります

が、傍聴席までの道程は、年配の方々にとってはちょっととした苦行に似たものがあることは以前と変わりありません

感や言葉のやり取りの微妙なニュアンスは、議会を直接傍聴しなければ伝わらないものです。そして、この微妙なニュアンスの擦れ違いこそ、市民

の政治への関心の高まりを促す事のできる面白みがあると思うのです。しかし、以前同様に傍聴席はガラガラの状態…。もしも、質問項目の情報

が私の元に事前に入っていないければ、傍聴席の空席がまた一つ増えていたと思



Table with 2 columns: 定例議会の予定 (Regular Council Meeting Schedule) and 12月 (December). Rows include dates and meeting types like 告示 (Notice), 議会運営委員会 (Council Administration Committee), 開会 (Opening), 一般質問 (General Question), 総務・文教常任委員会 (General Affairs and Education Permanent Committee), 厚生常任委員会 (Welfare Permanent Committee), 産業・建設常任委員会 (Industry and Construction Permanent Committee), 予算特別委員会 (Special Budget Committee), 表決・閉会 (Vote and Closing).

議会傍聴にお越しく下さい

議場入り口で、氏名、住所を記入してお入りください。尚、議場へは庁舎東側階段をご利用ください。

※質問内容については市のホームページで事前にお知らせしています。

編集後記

去る9月6日、秋篠宮ご夫妻に、悠仁さまがご誕生なされました。市民の皆様とともに、心からお慶びを申し上げます。皇室では41年ぶりの男児のご誕生です。名前には「ゆつたりとした気持ちで、長く久しく人生を歩んでほしい」という、秋篠宮ご夫妻の願いがこめられています。「母子ともにお健やか」でお元気に退院されたお姿を拝見し安心いたしました。悠仁さまのご成長が楽しみです。ね。

実りの秋、そして、スポーツ、文化、芸術の秋を迎えました。皆様、各地域での行事に思う存分、活躍のことと思えます。この号がお手元に届くころ、寒さも一段と増していることでしょうか。くれぐれもご自愛下さい。

編集委員

- 町田 義昭 高橋 孝夫
谷口 栄子 鈴木 武次
蒲生 光男 我妻 昇